

次期温暖化対策実行計画 全体構成(案)

構成		主な内容	構成		主な内容	
第1章 計画改定の背景			第4章 2030年度に向けた取組			
1 地球温暖化と名古屋の現状	第1回懇談会	(1)地球温暖化の影響	1 温室効果ガス排出量の削減に向けた取組	(1)2030年度に向けた施策と5つの重点分野	第3回懇談会 ※次回	・長期戦略の「生活の将来像」とそれに向けた2030までの取組の分類、重点分野
		(2)地球温暖化を巡る国内外の動き		(2)重点分野		・名駅再開発や区役所改築等に合わせた環境配慮の導入と低炭素地域づくりの促進等
		(コラム)「低炭素都市なごや戦略実行計画」の改定		①低炭素なまちづくり		・家庭からの大幅な排出削減に向けた、市民の行動促進の仕組みと担い手づくり、住宅の性能向上促進等
		(3)名古屋の現況		②エコライフに向けた取組		・業務からの大幅な排出削減に向けた、事業者の規模・業態に応じた排出削減促進、工場・ビルの性能向上促進等
2 名古屋のめざす将来像	第2回懇談会	(1)低炭素都市2050なごや戦略	③環境に配慮したビジネススタイル	④環境エネルギー	※次回	・水素の利活用と、ポストFIT・補助金を見据えた再生可能エネルギーの導入促進策等
		(2)名古屋市総合計画2018	④環境エネルギー			・環境学習プランの推進、エコパルの改修等
3 地域の課題と地球温暖化対策	※今回	(1)今後の名古屋を取り巻く潮流	⑤ひとづくり	⑤ひとづくり	※次回	・低炭素なまちづくりの構築・展開、土地利用の誘導
		(2)地域における地球温暖化対策の意義	(3)主な取組			①駅そば生活
4 計画の基本的事項	第1回懇談会(済)	(1)計画の位置づけ	②風水緑陰生活	②風水緑陰生活	※次回	徒歩・自転車シフト、公共交通利用、環境に優しい車利用
		(2)計画期間、基準・目標年度	③低炭素「住」生活(移動)	③低炭素「住」生活(移動)		環境配慮住宅・建築部の普及促進
第2章 温室効果ガス排出量の現状			④低炭素「住」生活(住宅・建築物)	④低炭素「住」生活(住宅・建築物)	※次回	事業者の環境行動促進、環境産業・ビジネスの育成・支援
1 温室効果ガス排出量の推移	第2回懇談会	(1)名古屋市の排出量の推移	⑤低炭素「住」生活(事業・産業・技術)	⑤低炭素「住」生活(事業・産業・技術)		※次回
		(2)全国との比較	⑥低炭素「住」生活(環境エネルギー)	⑥低炭素「住」生活(環境エネルギー)	低炭素なライフスタイルの促進、環境教育と担い手づくり	
		(3)活動区別の要因分析	⑦担い手づくりと協働	⑦担い手づくりと協働	(コラム)名古屋市の取組	
		(コラム)前計画の取組結果				
第3章 計画の目標			2 気候変動の影響への適応			
1 温室効果ガス排出量の削減目標	第2回懇談会	(1)排出量の将来予測	(1)緩和と適応	(1)緩和と適応	※次回	・緩和と適応の考え方と、適応に取り組んでいく必要性
		(2)削減目標	(2)背景	(2)背景		・世界の動き(IPCC報告)、日本の動き(適応計画決定)
2 最終エネルギー消費量の削減目標	※今回	(1)新たな削減目標の設定	(3)基本方針	(3)基本方針	※次回	・地域に最も近い自治体が適応に取り組む意義、必要性
		(2)削減目標	(4)基本的な進め方	(4)基本的な進め方		・適応に取り組むにあたっての基本的な考え方(目的、対象とする分野、今後の進め方等)
3 評価指標	第3回	(1)従来「めざす姿」の指標に加え、温室効果ガス排出量等の削減目標と関係した指標を設定	(5)分野別の取組	(5)分野別の取組	※次回	・地域の特色や概況と予測
			(6)今後の取組	(6)今後の取組		・重大性、緊急性、確信度を評価し、取り組む分野を特定
			3 地球温暖化の取組と地域課題の解決			
			第5章 進行管理			
			1 進行管理			・毎年度のPDCAサイクルと中間見直し
			2 評価指標			・ステークホルダーとの協議と情報発信
						・「めざす姿」の指標と削減目標と関係した指標を再掲